



海外インターンシップ事業

2018 年春期

ベトナム・カンボジア

インターンシップ型スタディーツアー

企画

一般財団法人日本アジア振興財団 学生委員会

後援

国際機関日本アセアンセンター

在大阪ベトナム社会主義共和国領事館

在大阪カンボジア王国名誉領事館

在日本カンボジア王国観光省 等



顧問：山田 英男（在大阪カンボジア王国名誉領事）

我が国は、カンボジアの発展のために大きな役割を果たしてきました。しかし今後は経済的な支援だけでなく、日本国内の若い方々がカンボジアに目を向け、現地の人々と直接関わり合いを持って各方面での振興を目的とした「人の支援」を行うことがより一層必要だと考えています。カンボジアの教育・文化・農業・経済など各方面での振興を目的とした活動やアジア諸国からの留学生支援・交流活動を行う日本アジア振興財団(JAPF)はカンボジアだけでなくアジア諸国との架け橋を担うものであると確信しております。皆様方のより一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



代表理事：松岡 広隆（元衆議院議員/芦屋大学客員教授）

J A P Fは大使館・総領事館等の在日外国公館のご支援のもと発足し、今年で 12 年目を迎えます。日本とアジアの架け橋となることを目的にタイ・ベトナム・カンボジア・フィリピンを中心としたインターンシップ派遣・保育園連携事業など国内外で人材育成・交流の活動を行って参りました。日本とアジア諸国の間で必要となるのは「人」だと思っております。日本はアジア諸国にインフラを中心とした支援・協力を行ってきましたが、日本とアジア諸国が本当の意味で親交するために最も重要な要素は「人」であります。日本とアジア諸国との架け橋となる「人」になるための、きっかけとして当財団のインターンシップに参加して頂けたら幸いです。



学生委員会代表：河合 浩平（大阪大学経済学部 2 年生）《17 年春 1 ヶ国研修参加》

私自身が最初に JAPF のツアーに参加しようと思ったのは、アンコールワットが見たいという単純な理由でした。実際に行ってみると、今まで勉強してきた中では決して触れることのなかった新たな学びがそこにはありました。日本中から集まった仲間たちとその日訪れた研修先について話し合いながら、自分の中で発展途上国に対する本当の支援のあり方についてひたすら考えを巡らせたこのツアーは、自分の人生の中でもとりわけ貴重な経験であり、なおかつとても内容の濃いものとなりました。

他方、行程を終えて自分も次の参加者に何か革新を与えたいという思いで学生委員会へ入ることを決意しました。参加される皆さんに充実した学びや大きな成長を実感してもらえよう、学生スタッフ一同日々試行錯誤しながらツアー創りに励んでいます。

皆さんの本ツアーへの参加を心からお待ちしております。



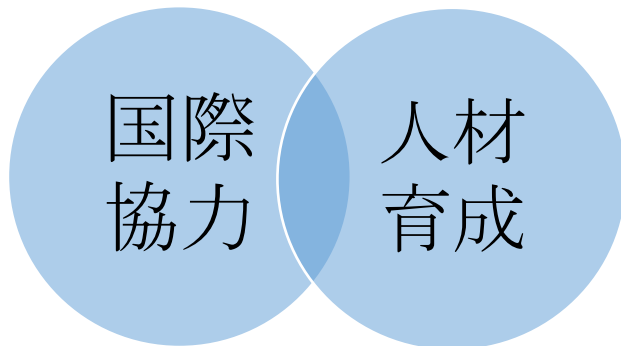
団体概要

歴史

2006年に在大阪カンボジア名誉領事館・在日本国カンボジア王国観光省・NPO 法人カンボジア振興協会の後援・支援により発足しました。大学生・大学院生を対象とする東南アジア諸国のインターンシップ事業を中心に活動を行うため再編されました。また、2013年に運営の多角化に対応するべく一般財団法人日本アジア振興財団(JAPF)へと再編成されました。発足より一貫してインターンシップ事業を行い、延べ人数 800 名を超える修了生を輩出しました。

理念

国際開発や国際交流に関心の高い、次世代の担い手の育成を推進します。



行動指針

国際社会で通用するキャリアデザインを助長し、アジアにおける国際協力・国際交流の推進を推奨します。
国際開発や歴史・政治・組織学・人材育成について専門的に研究を行います。
活動を通して直面する社会問題の解決に取り組みます。

支援・後援

国際機関日本アセアンセンター
在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館
在大阪カンボジア王国名誉領事館
在日本国カンボジア王国観光省
タイ大使館商務省商務参事官事務所
フィリピン共和国観光省西日本支局
駐大阪大韓民国総領事館

I. インターンシップ紹介

ベトナム・カンボジア

2月18日～3月1日 {12日}



カンボジア

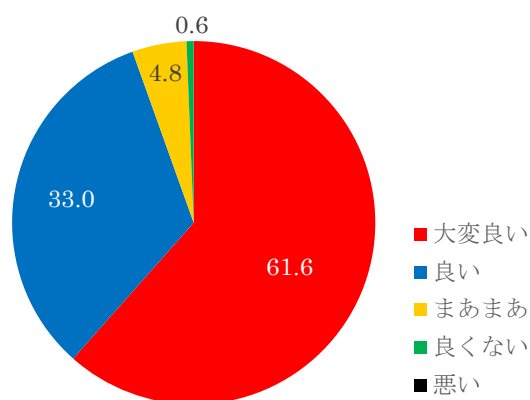
3月4日～3月11日 {8日間}

JAPF のインターンシップってどんなの？

✓ 日本唯一の公的機関後援

JAPF のインターンシップは領事館後援のもとに行われています。公的団体との連携のもと企画されたインターンシップのため、安全性・信頼性が保障されています。

✓ 過去参加者の高い満足度



2014年夏期～2017年夏期参加者アンケート
(研修先・ホテルなどの総評)

✓ 多分野を総括的に研修

歴史を軸に平和、医療、教育、産業、文化、社会の6分野をフォロー。多角的な視点を持つことでより理解が深まります。

✓ 学生対象

全国の大学生、院生、留学生、専門学生、延べ800名がこれまで参加してきました。

✓ 事前オリエンテーション

事前オリエンテーションでは、参加者が現地で安全に行動できるように、情報共有や充実した研修を行い、準備段階からサポートします。

✓ 現地公的機関の訪問

後援団体のサポートにより、観光では訪れることのできない現地公的機関、施設を訪問できます。

✓ 修了証の発行

在大阪カンボジア王国名誉領事館及び財団法人より現地調査研修修了証が発行されます。公的機関発行物なので就職活動で履歴書に記載できます。

過去参加者の出身大学 (※一部抜粋)

京都大学、大阪大学、早稲田大学、慶應義塾大学、筑波大学、北海道教育大学、関西大学、同志社大学、立命館大学、甲南大学、龍谷大学、関西外国語大学、京都女子大学、花園大学、北九州市立大学、西九州大学、鹿児島大学、沖縄国際大学…計約90大学



Ⅱ. インターンシップ概要



ベトナム

平和分野 ベトナム戦争について包括的に学びます。残された兵器や写真を展示している博物館や枯葉剤の被害でハンディキャップを持って生まれてきた子供たちと、ベトちゃんドクちゃんのドクちゃんが暮らす平和村等を訪れます。例：戦争証跡博物館、クチトンネル、平和村



カンボジア

平和分野 200～300 万人が虐殺されたポルポト政治とその後 1991 年まで続いた内戦について学びます。

例：地雷博物館、キリングフィールド、トゥール・スレン収容所

医療分野 医療現場に行き、カンボジア医療の現状と課題を学びます。

例：コサマック病院、HIV 患者がいる病棟

文化分野 世界遺産アンコールワットで朝日を観賞、天空の城ラピュタのモデルとなったタプロム遺跡などを巡り歴史や文化を学びます。ロリュオス遺跡では実際に修復体験をし、プノンバケン遺跡から夕日を眺めます。

例：アンコール遺跡群

社会分野 国際支援の現状を学び、農村やゴミ山を訪問します。

例：国際協力機構（JICA）、農村、ゴミ山

産業分野 現地で起業された日本人や観光省職員にお話を伺います。

例：カンボジア観光省、KURATA ペッパー

教育分野 教育支援団体の方から教育事情についてお話を伺い、現地学生と交流します。

例：TAYAMA 日本語学校、アンコール大学、CIESF（教育支援団体）



Ⅲ. スケジュール

ベトナム・カンボジア (2ヶ国研修)

1日目：出国

- ・関西・成田・福岡からベトナム（ホーチミン）へ
- ・戦争証跡博物館
- ・現地にて懇親会

2日目

- ・ドクちゃんが勤める平和村訪問
- ・クチトンネル
- ・ベンタイン市場

3日目

- ・バスでベトナムからカンボジアへ国境越え
- ・地雷被害者支援団体NSC

4日目

- ・トゥールスレン収容所
- ・キリングフィールド
- ・セントラルマーケット
- ・イオンモール視察

5日目

- ・CCH孤児院
- ・TAYAMA日本語学校
- ・国立コサマック病院

6日目

- ・カンボジア王国観光省
- ・HIVの患者がいる病棟
- ・国際協力機構（JICA）

7日目

- ・日本人企業KURATAペッパー
- ・バスでプノンペンからシェムリアップへ移動

8日目

- ・アキラ地雷博物館
- ・農村視察
- ・ナイトマーケット

9日目

- ・ゴミ山視察
- ・トンレサップ湖クルーズ

10日目

- ・アンコールワット遺跡群
- ・遺跡修復作業体験

11日目

- ・グループでの自由行動
- ・夜、空港へ

12日目：帰国

- ・午前中に関西・成田・福岡、各空港に到着

※過去のインターンシップの日程を参考に載せています

募集要項

○名称

ベトナム・カンボジア インターンシップ型スタディーツアー

○日程 2018/2/18(日)～3/1(木) 12日間

(最少実施人数：15名)

○金額 188,000円(税込)

往復航空券・現地移動交通費・自由行動以外の食事代・宿泊費・研修費用・現地添乗員費用(空港使用税・カンボジアビザ代・保険料金含まず)

○対象 30歳以下で専門学校・大学・大学院在籍者

○申し込み締切 2017/12/26(火)(先着順、必着)

※定員になり次第締め切らせて頂きます。ご了承ください。

○航空会社 ベトナム航空

○出発空港 関西国際空港・成田国際空港・福岡空港

○旅行実施 在日本国カンボジア王国観光省

○後援事業主 在大阪ベトナム社会主義共和国領事館 在大阪カンボジア王国名誉領事館

参加者の声 (2016年夏参加)：龍谷大学 文学部 田邊隼騎

長期休みは海外旅行したいなと思っていた時、大学でこのツアーのポスターを見かけました。①アンコール遺跡群を観光できる！②価格が良心的！③就活で使える修了書が貰える！…この3点で即決しました！

とても単純な動機で参加したのですが、結果的にマンネリ化していた自分の大学生活を変える経験をする事ができました！普通の観光ツアーと違って、ただ遊ぶだけではなく「学ぶ」事ができました。途上国の人たちが抱えている問題とは何か、現在なされている支援とはどういう性質を含んでいるのか…。日本にいては決して気付くことのない現状を目の当たりにすることができます。ツアーを通し他大学の友達ができたというのも良かったです！せっかくの長期休み、時間があるうちに自分の枠から一歩踏み出すかどうか。僕は一歩踏み出すことをオススメします。



カンボジア (1ヶ国研修)



1日目：出国

- ・関西・成田・福岡からグループでカンボジアの首都プノンペンへ
- ・現地にて懇親会

2日目

- ・トゥールスレン収容所
- ・キリングフィールド
- ・KURATAペッパー

3日目

- ・HIV患者がいる病棟
- ・TAYAMA日本語学校
- ・現地学生と夕食会

4日目

- ・教育支援団体CIESF
- ・カンボジア王国観光省
- ・イオンモール視察

5日目

- ・バスでシェムリアップへ
- ・ゴミ山視察
- ・アキラ地雷博物館

6日目

- ・アンコールワット遺跡群
- ・遺跡修復体験

7日目

- ・農村での生活体験
- ・イオンモール視察
- ・夜、空港へ

8日目：帰国

- ・午前中に成田・関西・福岡、各空港に到着



※過去のインターンシップの日程
を参考に載せています

募集要項

○名称

カンボジア インターンシップ型スタディーツアー

○日程 2018/3/4(日)～3/11(日) 8日間

(最少実施人数：15名)

○金額 153,000円(税込)

往復航空券・現地移動交通費・自由行動以外の食事代・
宿泊費・研修費用・現地添乗員費用

(空港使用税・カンボジアビザ代・保険料金含まず)

○対象 30歳以下の専門学校・大学・大学院在籍者

○申し込み締切 2018/1/8(月)(先着順、必着)

※定員になり次第締め切らせて頂きます。ご了承ください。

○航空会社 ベトナム航空

○出発空港 関西国際空港・成田国際空港・福岡空港

○旅行実施 在日本国カンボジア王国観光省

○後援事業主 在大阪カンボジア王国名誉領事館

参加者の声 (2016年夏参加)：

早稲田大学 法学部 横田菜子

勉強だけでなく、観光もできる、しかも公的機関の後援もある！そんな気軽な理由で、このツアーに参加しました。いろんな分野の活躍する人や、困っている人、問題解決に向けて取り組んでいる人と実際に会い、直接おはなしすることによって、問題と正面から向き合い、どうすればよいか考え、毎晩のディスカッションでは、違う視点を持つ仲間の意見を聞くことができました。非常に密度の濃い8日間で、メンバーとも仲良くなり、別れが惜しかったです。新しいことへの挑戦には勇気が要りますが、少しの勇気が、自らの大きな進歩につながります。皆さんも是非、チャレンジしてみてください。



IV. インターンシップのながれ

説明会または資料請求

東京、大阪、京都、神戸、福岡にてインターンシップ説明会を開催しています。個別説明会や資料請求についての詳細はHPをご覧ください。



オリエンテーション・勉強会（任意参加）

お申込み完了後、オリエンテーションにて持ち物や注意事項の確認、現地語講座等を行います。また、領事館主催のカンボジア勉強会（関西のみ）も開催します。



インターンシップ

公的機関を含む様々な分野の施設を訪問し、現地の方々や参加者同士の交流を通じて、一人一人に「気づき」の場を提供します。



修了証受領式・事後研修

帰国後、修了証書が発行されます。また、参加者を中心に事後研修を企画し、研修のアフターフォローを行います。



お申込み手順

① 必要書類ご記入・ご提出

説明会にて必要書類を配布いたします。説明会へ参加されない場合はお問い合わせ頂き、必要書類を送付いたします。また、当財団のホームページからでも申し込みできます。

ベトナム・カンボジア 2017年12月26日(火)申込締切

カンボジア 2018年1月8日(月)申込締切

② 航空券、海外旅行保険等のお手続き

③ 航空券一部代金（3万円）のお振込… 2ヶ国研修：2018/1/4（木）迄 1ヶ国研修：2018/1/17（水）迄

④ 残金のお振込み… 2ヶ国研修：2018/1/11（木）迄 1ヶ国研修：2018/1/24（水）迄

⑤ パスポートのご取得（ご申請より約2週間）

⑥ ビザのご取得

V. よくある質問

Q 一人で参加したいのですが、大丈夫ですか？

A

例年この研修では一人で参加される方が大半です。また、過去には海外渡航が初めての方にも参加して頂いておりますのでご安心ください。

Q 現地語や英語が話せませんが、大丈夫ですか？

A

現地では日本語、現地語が話せる通訳スタッフが常時同行します。研修先での説明や質疑応答は通訳スタッフを通じて行いますのでご安心ください。また事前オリエンテーションでは現地語について簡単なレクチャーを行いますので、現地の方々との交流にお役立てください。

Q 現地の治安は大丈夫ですか？

A

各研修先は事前に現地スタッフが安全確認をしております。また、地雷原であるタイとの国境付近についてはインターンシップで近づくことはありませんのでご安心ください。インターンシップ中の自由時間は 4 人以上の行動を義務化し、現地での安全性は徹底しております。

※外務省の海外安全ホームページで世界各国の治安状況をご覧いただけます。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

Q 食事、宿泊施設はどのようなものですか？

A

自由行動以外の食事は事前調査をし、衛生面の基準をクリアしたレストランのみを利用します。また現地では、参加者ひとりひとりにミネラルウォーターを配布します。宿泊施設については現地で三ツ星以上の付いたホテルに宿泊します。フロントでは Wi-Fi が通り、各部屋にバス・シャワー・トイレ・タオル等が完備してあります。



Q 海外保険はどうすればいいですか？

A

JAPF ではインターンシップ中の安全を保障するため、海外旅行保険に必ずご加入していただけます。JAPF が推奨する保険のパフレットをお送りいたしますが、それ以外の保険に加入していただいてもかまいません。

Q 現地で病気になってしまったら？

A

現地で病気や怪我をした場合、スタッフが日本語・英語の通じるインターナショナル病院までお連れします。

Q 申し込み完了後にキャンセルをしたい場合、どのような手続きを行えばいいですか？

A

キャンセルは、お電話またはメールでお受けいたします。

VI. 参加者アンケート

ツアーを通じて得たこと、学んだことは何ですか？

- ・自分の価値観で物事を見ていることに気付いた。
- ・様々な価値観があるということ。
- ・物事を様々な視点からみることの必要性。
- ・自分の無力さ。
- ・一人一人の考えの相違を認めることの重要性。
- ・価値観の多様性と主に人間みんなに共通している感情。
- ・支援をどこまでやるべきか。
- ・自分の知らない自分。
- ・挑戦することの意義。



一番感動したことは何ですか？

- ・日本語学校など現地学生の学びに対する姿勢。
- ・アンコール遺跡群に沈む夕日をみんなでみたこと。
- ・言葉の壁を越えたコミュニケーション。
- ・現地で出会った日本人の熱い想いと信念、行動力にふれたとき。
- ・ポール・ポトの大虐殺から生き残った人から直接お話を聞いたこと。
- ・現地の人々の向上心。
- ・カンボジア料理がこんなに美味しいとは思わなかった。
- ・どんな失敗も見守ってくれる仲間に出会えたこと。
- ・日本企業の進出。日本製品に溢れていたこと。



参加前と後で自分自身に変化はありますか？

- ・能動的に行動するようになった。
- ・対人コミュニケーションへの意識。
- ・東南アジアのことをみんなに知ってもらいたいと思った。
- ・世界が身近になった。
- ・学習意欲が高まった。
- ・大学の授業に対する意識が格段に変わった。
- ・興味の幅が広がった。
- ・ディスカッションが怖くなくなった。
- ・自分に自信がついた。



VII. インターンシップ修了生の活動

インターンシップ終了後に活動をする場として学生委員会があります。学生委員会ではインターンシップ事業以外に、以下の活動を行い、インターンシップでの経験を外部に伝える機会を設けています。その中からいくつかご紹介いたします。

ワンワールド・フェスティバル



毎年2月に大阪にて開催される、ワンワールド・フェスティバルにブースを出展しています。西日本最大の国際協力・交流の祭典であり、毎年盛り上がりを見せています。ワンワールド・フェスティバルに参加することにより、学生以外の人々に対しての広報活動を行っています。また他団体からの刺激を受けることで、当財団のさらなる発展にもつながっています。

財団設立記念式典

2013年11月に外務省後援による財団記念式典が開催され、修了生一同参加しました。

日本とASEANの懸け橋をつくりたい



「日本と東南アジア諸国連合（ASEAN）」地域との懸け橋をつくりたい

10月に第1回「ASEAN」人「日本アジア振興財団」（大阪府豊中市）の学生代表を務め、日本の学生をベトナムやカンボジアに派遣して草の根レベルの交流に汗を流す。

財団は今年9月まで、任意団体として活動。設立した平成18年以降、インターンシップなどで約400人以上が参加している。

川崎愛華さん(21)

「私は、人生観が変わった。自然と学んでいる。そうではない人たちがアジアにはたくさんいることを知っている。」

財団の運営スタッフとなつて活動に注力する。

平成4年、京都府生まれ。京都市内の小・中学校へ通い、立命館大学へ入学。2年時の夏に、日本アジア振興財団の活動を通じてベトナムとカンボジアを訪問し、帰国後、学生代表に就任した。

（坂田 伸太郎）

立命館大学国際関係学部3年。在籍する自身もその一人だった。英語の授業で「ASEAN」の発展途上国の貧困問題に興味をもち、ついに昨夏に初めて同国を訪問。そこで「ミミ」の口の中で生活する人々と出会い、人生観が変わった。「私たちが学んでいることを、自然と学んでいる。そうではない人たちがアジアにはたくさんいることを知っている。」

財団の運営スタッフとなつて活動に注力する。

平成4年、京都府生まれ。京都市内の小・中学校へ通い、立命館大学へ入学。2年時の夏に、日本アジア振興財団の活動を通じてベトナムとカンボジアを訪問し、帰国後、学生代表に就任した。

（坂田 伸太郎）

産経新聞 2013/12/10(火) 掲載

国際的な人材育成へ

日本アジア振興財団設立式典が16日、大阪府豊中市の日本アジア振興財団会館で開かれ、代表理事に就任した元衆議院議員の松岡弘隆氏が「未来につながる活動をアジアで行いたい」との活動方針を示した。

日本がカンボジアと国交樹立して60周年、ベトナムとは40周年の節目を迎え、従来の任意団体から一般財団法人へ再編。役員として在任カンボジア王国名誉領事の山田英男氏、日本アジア振興財団の設立を祝う式典出席者16日午後、大阪市中

が顧問に就いた。計画によると、日本の学生をカンボジア、ベトナム、タイのASEAN地域に派遣し、現地のNPOや政府機関でのインターンシップ（就業体験）を通じて将来の国際開発を担うグローバルな人材を育成していく。

式典に出席した外務省の小島誠二特命全權大使は、安倍晋三首相の東南アジア諸国連合（ASEAN）歴訪に言及し「日本の若い人が（ASEANの）8カ国で民間を巡るのには素晴らしい」とエールを送った。式典には在阪の大学生やアジアの留学生も出席し、国際交流への決意を新た

産経新聞 2013/11/17(日) 掲載

本当の支援ってなんだろう。



一般財団法人 日本アジア振興財団
Japan Asia Promotion Foundation

大阪事務所

〒530-0044 大阪市北区東天満 1-11-13 AXIS 南森町 10F

お問い合わせ

TEL : 06-6351-6855 (財団)

TEL : 090-7876-0022 (担当)

FAX : 06-6755-4128

info@japf.or.jp

東京連絡事務所

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 3-4

(在日本国カンボジア王国観光省内)

福岡連絡事務所

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 2丁目

7-14 天神シティービル 5階 B 室

公式ホームページ <http://www.japf.or.jp/>



📄 HP をご覧ください